

活動報告

「地域要望に朗報が！」

会長 京野 進

四月、冬まだ明けきらず雪々々の寒々とした空、観測史上最大規模風速40m超の暴風に自然の驚異をまざまざと体感させられる日々の生活です。

昨年3月11日発生の東日本大震災は復興もままならず、被災地の皆様は幾多の辛苦に耐え、昔日の生活へ回帰の念に駆られていることと存じます。復興の課題である「ガレキ処理」については政府もようやく重い腰を上げ、全国的にその気運は高まりつつあります。

秋田市においても、安全性確認のため燃焼試験を実施するとの説明会が3回にわたり御所野地区で行われました。5月中旬には燃焼試験が行われます。その結果は再び住民に説明があると思います。安全が担保できたら、すみやかな行動を期待します。

隣人の苦しみは自身の苦しみと同じことと捉え、共助の気持ちを忘れずに、温かい支援の手を差し伸べることが人としての大切な絆であろうと思います。

さて、連合町内会平成23年度の活動は残すところ半月となりまじした。活動は残すところ半月となりまじした。

広報御所野第39号・第40号で報告しておりますが、その後「地域要望について」進展があり、永年蓄のままであった五大事業が一気に開花し実りある23年度となりました。

秋田県議会議員富樫博之氏（県関係）、秋田市議会議員鳥井修氏（市関係）より以下の報告がありました。

平成24年度秋田市一般会計予算において、御所野地区の長年にわたる地域要望である各種施設整備に関わる予算が決まりましたのでご紹介いたします。

◇一つ目は、「地蔵田遺跡出土品展示施設（仮称 地蔵田遺跡展示資料館）」整備事業です。

史跡地蔵田遺跡等からの出土品を展示する施設等を整備するために御所野総合公園管理事務所を改修し展示施設（予算約一千七百万円）を平成25年3月に設置する予定です。

◇二つ目は、「一四つ小屋駅東口自転車等駐輪場」整備事業です。四つ小屋駅東口では市道に隣接

した自動車回転地が毎日100台の駐輪自転車で溢れ、車両の回転に支障をきたし、特に朝夕は送迎車や通勤通学者の自転車、歩行者など大変混雑している状況にあります。自転車等の環境に優しい交通手段の利用を促進し、通勤・通

学者の安全を確保することを目標に、平成25年3月の予定で自動車回転地に隣接した場所に、120台駐輪可能な駐輪場を整備いたします。（予算約一千二百万円）

◇三つ目は、「御所野学院テニスコート」整備です。中学校は男女、高校は女子が活

動しておりますが、学校敷地内に施設がないため、外部の施設を借用し活動している状況です。以前よりテニスコートの整備を要望してききましたが、今回御所野学院グランドに2面を整備する予定です。

◇四つ目は、「コミュニティ機能を付加した児童センター」の整備です。

現在、秋田テルサ内に暫定設置されている児童室を新たな場所（木造または鉄筋コンクリート造2階建を想定）に、本格的な児童センターにコミュニティ機能を付加した施設を整備します。秋田市

の整備方針では、平成26年度までにとなつておりますが、早期設置に向けた取り組みを地元市議会議員と連携し取り組んで参ります。

◇五つ目は、現在ゲートボール場として利用されているシルバールエリア屋外運動場を「グラウンドゴルフ場」に改修する案件です。

秋田県一般会計予算で承認され、約一千万円の予算で芝生植栽等の施工予定です。利用時期については、富樫県議会議員と連携し早期着工をお願いしたいと考えています。

以上の案件につきましては、富樫県議会議員、鳥井市議会議員、秋田市議会議員のご尽力をいただきました。感謝申し上げます。

最後に、この一年間皆様の絶大なご支援をいただき、平成23年度の事業を滞りなく完結できましたことに感謝申し上げます。

今後は、少子高齢化時代を迎える御所野地区が高齢者・子供に優しい田園都市としての発展を目標に活動することが、御所野連合町内会に与えられた責務と考えます。より一層の奮起を期待します。

平成24年度町内会長

各町内会の会長さんを

ご紹介いたします。

- 下堤一丁目町内会 留任
- 山岸 重夫 (18-7)
- 元町二丁目町内会 新任
- 小林 陽 (1-1-204)
- 元町二丁目町内会 留任
- 原田 吉清 (10-2)
- 元町三丁目町内会 新任
- 高橋 順次 (10-3)
- 元町四丁目町内会 新任
- 加藤 正信 (5-41)
- 元町五丁目町内会 留任
- 多田 正明 (2-1)
- 元町六丁目町内会 留任
- 佐藤 修 (17-22)
- 元町七丁目町内会 留任
- 小林 一三 (21-2)
- 地蔵田二丁目町内会 留任
- 高橋 信男 (7-5)
- 地蔵田四北町内会 留任
- 後藤 欣二 (8-6)
- 地蔵田四南町内会 留任
- 高橋 信清 (14-4)
- 地蔵田五北町内会 新任
- 鈴木 均 (8-5)
- 地蔵田五南町内会 新任
- 大坂 晃雄 (24-3)
- 堤台二丁目町内会 新任
- 三浦 文夫 (6-215)

23年度の行政への要望事項
 地域の問題の解決を、市、県、
 東警察署に願っています。

- 一、地域内の道路環境の整備
- ・地蔵田五丁目地区内への押しボタン信号機の設置(継続)
- ・通学路の安全対策。
- ・元町五丁目地区交差点へ信号機設置(継続) 小ランド側横断歩道への信号機の設置
- ・湯本地区内の変則交差点への信号機設置(継続)
- ・長期停止の融雪道路の復旧(継続) 小学校通学路だけでも早期整備願いたい。
- ・道路側溝の洗浄について側溝掃除は重労働で、危険が伴う。行政で実施願う。
- ・四ツ小屋駅東口の駐輪場の設置(継続)

- 二、地域内公共施設の整備
- ・コミセンと児童センターの早期設置(継続)
- ・地蔵田遺跡資料館の整備と案内標識の設置(継続)
- 三、災害時の避難場所指定
- ・現行の小、学院のみで地域外からの避難を考えた場合、対応困難。市の考えを聞きたい。

(継続)は、会長の活動報告にある通り、解決した項目もあります。
 必要な事は、諦めずに毎年繰り返し要望することが肝心と考えます。

「災害時の情報伝達、自助・共助体制の確立」について

23年度の事業計画の一つである標記件について、広報第40号(23年12月22日発行)で、二つのプロジェクトチームの検討結果をお知らせいたしました。

テーマ別に大枠のスキームは出来上がり、その実行を各町内会に要請しておりますが、体制作りは各町内でかなりのバラツキが見られます。せつかく出来上がった情報連絡網等も、各町内の組織体制が出来ていないと機能いたしません。そこで、14町内の防災体制に関する進捗状態の実態調査をおこないましたので、概要をお知らせいたします。

各町内会が足並みを揃えた防災対策に至急取り組まれるよう重ねて要請する次第です。
 防災対策はこれで万全と言うことはありません。常に状況に合わせた見直しと、取り組みの継続が肝要です。連合町内会としても、情報連絡網が機能するかどうかの検証や、要援護者対策を含めた地域の防災対策は24年度も継続して取り組む予定ですので、住民各位のご協力をお願いいたします。

防災体制の調査結果 調査 平成24年2月時点

元町地区は、町内会の発足が古い分だけ取り組みが進んでいる。地蔵田地区は、今後の取り組み計画が多く、町内会の発足年度や住民の年齢構成が影響していると思われます。

項目	防災組織			一時避難所		要援護者ネット	
	組織	見直し	結成予定	指定	周知	組織	形態
町内会							
下堤一	○	○		○	○	○	個別
元町一	×	—	未定	×	—	×	
元町二	○	○		○	○	○	グループ
元町三	○	○		○	○	○	グループ
元町四	○	○		○	○	○	個別
元町五	○	×		×	—	×	
元町六	○	9月まで		×	—	×	
元町七	○	5月まで		○	○	×	
地蔵田二	×	—	4月まで	○	○	×	
地蔵田四北	○	○		○	○	○	グループ
地蔵田四南	×	—	未定	×	×	×	
地蔵田五北	×	—	5月から検討	○	○	×	
地蔵田五南	×	—	検討中	×	—	×	
堤台二	×	—	未定	×	—	×	

平成24年度御所野連合町内会 代議員総会
 5月13日(日)午後1時半から
 秋田テルサ第一会議室